

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人秀峰会	代表者	理事長 櫻井 大	法人・事業所の 特徴	横浜市に様々なサービスを展開して、高齢者介護に長く携わってきている。当事業所も地域に役立つサービスを提供し、介護事業者だけでなく、町内会行事への参加や乳幼児交流会を開催し、外部との交流にも力を入れている
事業所名	小規模多機能型居宅 介護 りんどう	管理者	木村 夏規		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	人	1人	1人	1人	人	3人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	適切な評価ができるようにもっとわかりやすい目標や設問にし評価精度が高まるように計画をしていく	事業所自己評価は年1回なため、意識して行えているとは言えなかった。毎月 PDCA サイクルを回す必要があった。	年一回の評価のため、全職員に周知されていない様子がみられた。意識できるよう年数回評価を試してみたらどうか。	毎月スタッフ会議の際、自己評価項目に触れ、取り組めるようにする。
B. 事業所のしつらえ・環境	引き続き環境整備を継続しつつ、修繕等必要な場合は迅速に対応しご利用者が不便を感じないようにする	玄関のごみ箱購入、洗面台、襖の修繕など実施した。清掃のしやすい環境を整えるため、物品も揃えた。次年度は介護ベットや椅子等交換予定。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナで施設に行けなかったのので、わからない。 ・りんどうに来るたびに新しい物、きれいになっていったので楽しみだった。 	衛生委員会と協力して毎月設備、環境を確認する ご利用者、ご家族だけではなく地域の方も気軽に立ち寄れるよう工夫していく。
C. 事業所と地域のかかわり	新型コロナに影響のないような形で出来ることを検討していく	地域包括主催の研修に参加した。民生委員の方とも交流ができた。地域行事等には参加できなかったが、地域を応援するため、昼食など地域のお店からお弁当を購入し提供するなど工夫した	地域活動がコロナ禍でありませんでした。また実施された際には参加できると良いと思います。	地域担当を決め、積極的に地域行事に参加していく。 毎月届く地域の情報を現場スタッフにも共有する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	新型コロナに影響のないような形で出来ることを検討していく	認知症デイサービス化していたため、小規模多機能サービスの勉強会を実施し、小規模多機能サービスのあるべき姿を共有した。感染状況に合わせ、外出（なじみの飲食店、スーパーなど）した。ご利用者個別に時間をつくり「○○さん、誕生日だから喫茶店に行ってきます」などスタッフからの提案も増え、地域に出向くことがあった。	<ul style="list-style-type: none"> ・会議も対面でできるようになると言いと思います。 ・感染が落ち着いていた時期には一緒に食事に行ったりしてくれ楽しかった。今度は一緒にお酒を飲みに行きたいです。さだまさしのコンサートにも行きたいです。 	新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いているときは、地域のなじみの関係があるお店や催し物に参加していく。 集団では難しいので、個別で対応していく。

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>書面開催を継続する間は、書類内容の精度を上げて内情がきちんと伝わる様な物を作成していく</p>	<p>書面を提出するのみになってしまった。りんどうの活動内容も伝わりにくいと思われる。 次年度は新型コロナの感染状況の落ち着いている月には書面ではなく対面で実施し、りんどうの雰囲気を観ていただきたい。</p>	<p>・会議も対面でできるようになると活動にも活かせると思います。来年度、期待しています。</p>	<p>運営推進会議開催後、内容についても現場スタッフと共有する。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>訓練が毎回似たような形のため訓練担当者を変えて新しい方法を検討・実施していく</p>	<p>避難訓練は年2回実施。 防火管理者変更に伴い、消防署へ相談できた。マンション1Fで運営しているため、マンション住民との避難訓練も計画していたが、コロナの影響で延期した。事業所内ではご利用者の避難誘導だけではなく、マンション住民にどう伝えるか等もシミュレーションし訓練した。毎月出火から一連の流れを確認、訓練する方法に変更した。</p>	<p>・地域の防災訓練もありますので、状況を見て参加してください。 ・地域担当を決め、防災訓練に参加してみてもどうか。 ・りんどうに行く日であれば一緒に参加してもよい。</p>	<p>地域担当を決め、積極的に参加する。 地域の方にりんどうの避難訓練にも参加してもらう。</p>